

こんにちは。セントケアです。
セントケア便りは、皆様の生活の中でご利用いただける健康や暮らしの情報を定期的にお伝えさせていただいております。
ご意見・ご要望等ございましたら、発行元までご連絡ください。

暑い夏、お風呂に入ってさっぱりしてほしいのに・・・

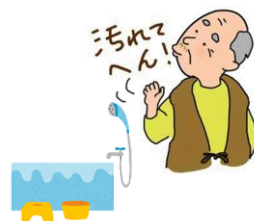
「入浴を嫌がる」その理由を一緒に考えましょう！

汗をかきやすい季節、お風呂に入ってもらえない。「体調が悪い」や「用事がある」など様々な理由を話されると思いますが、その中に認知症の症状により、お風呂に入るのを拒まれる場合も多く見受けられます。
今回、認知症の症状により拒まれている時にどのような理由が考えられるか、またお風呂をおすすめする時に、施設等の介護員がどのような工夫しているかをご紹介します。



入浴を嫌がる理由と声かけ・お誘いのヒント

ご本人の想いや、様々な理由を想像することが大切です



お風呂に入る行為自体が億劫になっている

→ご本人が興味を引きそうな言葉を付け加えたり、
部分浴をする

「お風呂」で行う内容がわかるが億劫になっている時は
「一番風呂ですよ」「今日はゆず湯ですよ!」
などの特別感を出した言葉でお誘いしてみましょう。
また、手浴や足浴といった部分浴を行い、気落ち良さを
実感していただいた後「せっかくですのでお風呂にも入
りましょうか?」と声をかけてみましょう。

「お風呂」「入浴」という言葉の意味が理解できなくなっている

→お風呂の写真やお風呂で使用するものを活用する

「お風呂」という言葉だけで、内容を理解できていない時
もあります。お風呂の写真を見せたり、桶やタオルを持ってい
ただいたりすると思い出してくださることがあります。



「お風呂」の意味は分かっているも、
お風呂の入りが思い出せない。誰かと入るのは不安

→安心できる環境を整える、一緒に入る

昔から使っていた道具をそろえたり、シャワーの使用方
法などを描いた紙を貼っておくなど、ご本人が入浴時不安に
ならないような環境を整えます。

また、「お背中流しますので一緒に入りましょう」と目的
をはっきりさせることで安心していただけます。

ほかのことに興味が向いていて、
今はお風呂に入るタイミングではない

→時間をおいてみる、他の人から声をかけてもらう

時間をおいて再度声をかけてみたり、
(家庭ではお孫さんなど) 別の方から声をかけて
いただくとお入りがいただけることがあります。



「今日は足だけ」「明日は手」「明後日は身体を拭く」など、ゆっくり気持ちよさを思い出していただけると、その気持ちよさが心に残り、入浴してみようと思っていただけるかもしれません。
色々と相手の想いを想像して行動してみると色々な発見が出てきます。ぜひお試しください。